

第15期 森の子コレンジャー 始動！



今年、コレンジャーは15年目を迎えます。

これまで、市内に育つ次世代137人が郷土の自然について学びました。

今年は、リーダー4人に新たな仲間6人が加わりました(*'▽')

大きな節目となる今年、森林レンジャー2人はこれまでの参加者との歩みを胸に、更に気を引き締めて15期の仲間と自然に学ぶ活動を続けていきます！

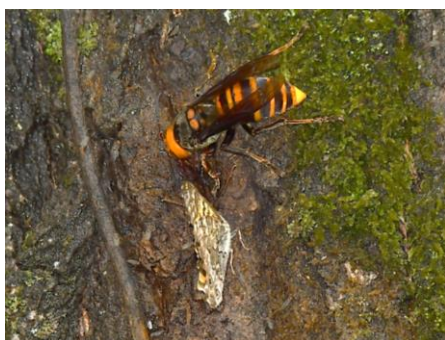
5月の活動



初回の活動は、雨が心配な空模様でしたが降ることなく無事に予定通り実施しました。

キビタキやホトギスなどの夏鳥、サトキマダラヒカゲなどの蝶、イノシシやテンの痕跡、クワやキイチゴ類の果実、スイカズラやユキノシタなどの花々…雨上がりに動き出した生き物を、たくさん発見することができました！

「自然が好きでもっと知りたい」仲間たちの活動時間はあっという間に過ぎて、時間が足りない程でした！



↑
オオスズメバチ(上)
サトキマダラヒカゲ(下)



ユキノシタ →

6月の活動



梅雨入り前の少し涼しい日に活動できました。

コレンジャーと、代々整備を続けてきたビオトープを見学しました。ビオトープとは、生き物が棲みやすい環境のことで、整備は今年で13年目となります。今期の仲間も「整備をしたい!」と手を挙げてくれたので(*'▽')冬が楽しみです！

ビオトープ見学後は、環境の違う山を歩いてビオトープとは違う動植物を観察しました。また、安全に山を歩くために必要なことも学び、盛りだくさんの一日となりました。



アカハライモリ →

梅雨の自然発見

ネジバナ

6月から8月にかけて、日当たりの良い芝地などに開花する多年草のネジバナ。ふだんは、花が咲いてから気がつく存在だったので、今年は開花前から観察してみました。

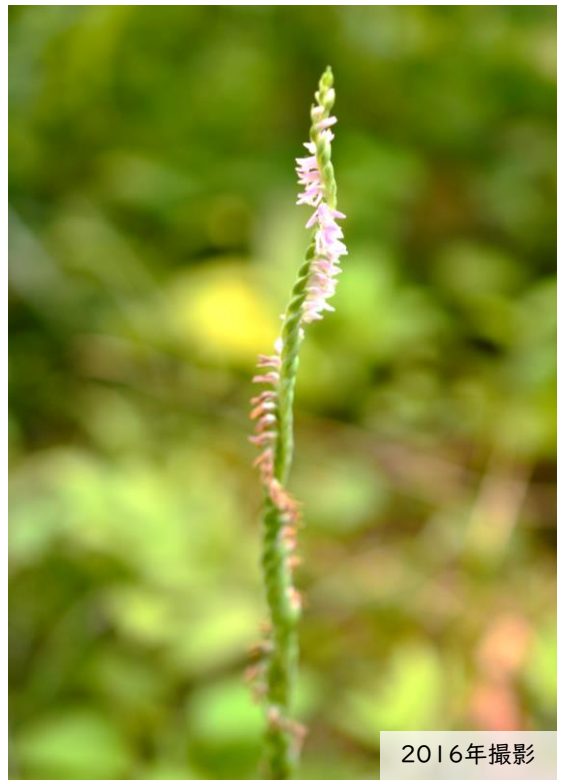
数日続けて雨が降った後の6月初旬、5月下旬にはなかった花茎が！その後、花茎も少しずつ伸びて蕾が膨らんでいきました。観察を初めて4日目には、下の方の蕾がねじれ始めます。そして、6日目に約5ミリの淡紅色の花が開花しました！横向きの花たちが、綺麗ならせんを描くようにねじれて咲きますが、このねじれは左巻きと右巻きが同じくらいの割合で見られるようです。

「身近な雑草」について書かれた本には、必ずと言っていいほど紹介されているネジバナ。実は、れっきとしたランの仲間です。

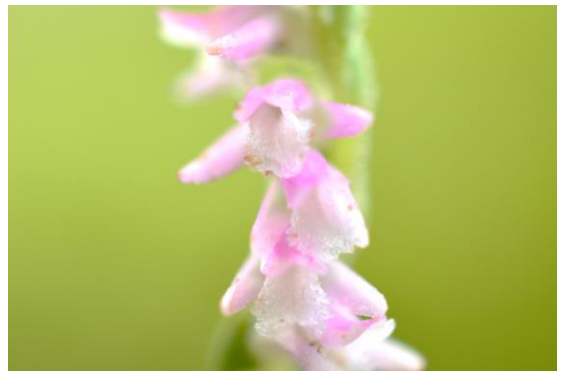
花をよ〜く観察すると、「本当にランの仲間だ」と納得する美しさがあります。

一株に数十個の花をつけ、その花は一斉に咲くのではなく下から順に咲き上がっていきます。そして、花に相応しい小さな昆虫の力などを借りて受粉すると、一つの花になんと数千から数万個の種子ができるようです。更に驚くことに、その種子はホコリのように細かくて発芽に必要な栄養分を持たないため、カビの仲間である菌に助けを借りて発芽するのです。

天候の変化が激しいこの時期に観察していると、小さな花をらせん状につけることで重心は安定し、雨や風の衝撃に強い作りに見えてきます。また、目に見えない部分も含めて、理にかなっている身近なラン代表のネジバナ。見つけたら、ぜひ観察してみてください。



2016年撮影



1日目



3日目



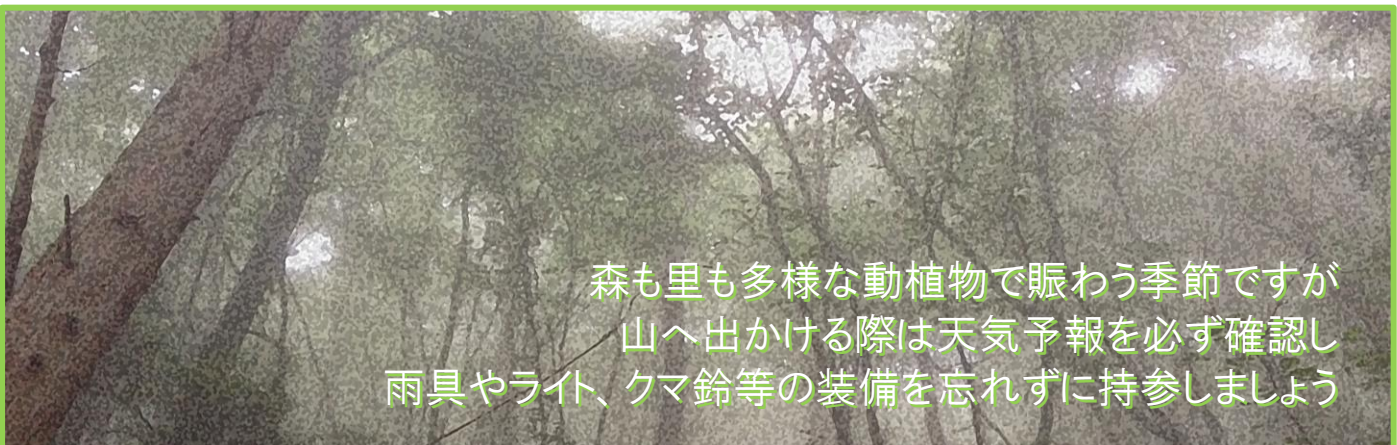
4日目



6日目



7日目



森も里も多様な動植物で賑わう季節ですが
山へ出かける際は天気予報を必ず確認し
雨具やライト、クマ鈴等の装備を忘れずに持参しましょう